

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	649
部 名	教育総務部	課 名	学校保健課	課長名	野田主税
事務事業名	施設運営事業（清新学校給食センター）				
予算上の事務事業名	施設運営費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14120	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	学校給食法、相模原市学校給食センター設置条例				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）			(2) 対象（誰、何）		
給食実施に伴う衛生管理に努め、給食用食器や調理に使用する備品等購入、光熱水費の支払い、給食調理業務委託等を行う。			センター校5校の児童・教職員 3,500人 光が丘小、共和小、並木小、大野北小、橋本小		
(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
給食実施に伴う衛生管理に努め、給食用食器や調理に使用する備品等購入、光熱水費の支払い、給食調理業務委託等を行った。					
6 関連・類似事業や他市の状況	他の自治体でも同様の目的で実施している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	26,804	86,913	85,307	91,655	91,655
一般財源	26,804	86,913	85,307	91,655	91,655
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	176,220	5,380	5,367	5,367	5,367
事業コスト合計	203,024	92,293	90,674	97,022	97,022
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	給食調理業務委託（※平成16年度から実施）			対象名称 と単位	受入校5校の児童・ 教職員3,500人
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	176,220	55,655	54,782	62,074	62,074
対象数	3,390	4,430	3,500	3,600	3,600
単位あたり経費(円)	51,982	12,563	15,652	17,243	17,243
前年度比		0.24	1.25	1.10	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	児童・教職員数（人）	指標式と指標の説明	給食調理数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	3,390.0	4,430.0	3,500.0		
目標	3,390.0	4,430.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	児童・教職員の給食供給率（%）	指標式と指標の説明	児童・教職員数÷給食調理数×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		衛生管理を徹底し、時間どおり配食している。今後も現状を維持し事業を継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
安全で、おいしい給食の提供を実施するため、衛生管理を徹底し献立の工夫をする。			給食センターの老朽化（昭和48年4月稼動）		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			